



ー音楽にこめた想いを徳島の地へー きらめきチャリティコンサート

日時▼12月10日(日) 13時開演(12時30開場)
 会場：3階多目的ホール 入場無料
 主催：徳島城山ライオンズクラブ(088-624-9922)
 NPO法人教育倫理プラザ(088-692-0902)
 出演：佐藤ひらり
 *東京2020パラリンピック開会式国歌独唱。アメリカNYシアターでウィークリーチャンピオン獲得。

あかちゃんのおはなしのへや

日時▼12月15日(金) 11時~11時30分
 会場▼2階ハイビジョンシアター 入場無料
 対象▼0~3歳までの子どもとその保護者のための
 図書館職員によるおはなし会です。

板野郡中学校生徒美術作品展

日時▼
 12月23日(土) 13時~17時
 24日(日) 10時~17時
 26日(火) 10時~16時
 会場▼
 2階ギャラリー 入場無料



園元千鶴・上野美貴 ソプラノデュオリサイタル

日時▼12月24日(日) 14時開演(13時30開場)
 会場：3階多目的ホール
 主催：パンダ倶楽部(090-7623-5214) 
 入場料：一般 2,000円 小中高生 1,000円
 ※チケット予約は QRコードから

創世ホール名画鑑賞会 Vol. 38

土を喰らう十二月

日時▼令和6年1月20日(土) ①10時30分~
 ②14時~
 会場▼3階多目的ホール
 入場料▼
 一般・大学生 前売1,000円 当日1,300円
 小中高生・60歳以上 1,000円 (前売・当日共通)

※チケットは図書館カウンターで取扱っています。
 上映作品▼「土を喰らう十二月」
 (2022年上映作品・111分)

主催▼創世ホール名画鑑賞会実行委員会
 (問い合わせ：088-698-1100)



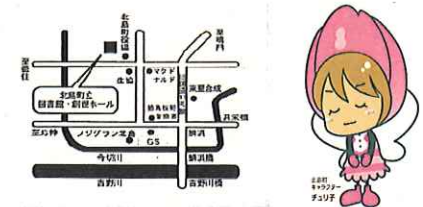
受験生応援企画自習スペース貸出

12月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

12月の上記カレンダーの丸印の日に自習スペースに貸出を行います。詳しくは、北島町ホームページ、館内にあるチラシ等をご覧ください。電話等での予約、座席指定などはできません。ルールを守ってご利用ください。*2月末まで貸出を行う予定です。1月・2月についてはそれぞれの月の号にカレンダーを掲載します。

※創世ホールに来場される方へ※

▼入場される方の、マスクの着用は個人の判断に委ねることとしております。
 ▼令和5年5月8日からは座席数制限を解除し、貸しホールイベントについては主催団体等の判断に委ねるものとしています。
 ■なお、今後の感染症拡大状況に応じて、対応を変更することがあります。ご迷惑をおかけしまして恐れ入りますが、ご協力くださいますようお願い申し上げます。



文◎化◎ジ◎ャ◎ー◎ナ◎ル

故郷・沖縄における金城哲夫さん顕彰

の実践④(南風原はえばる町、年表でたどる足跡)

2012(平成24)年

10月25日●《金城哲夫とウルトラマンのまちづくり住民会議》発足。

2013(平成25)年

1月30日●新春文化講演会「金城哲夫生誕の地南風原とウルトラマン」(南風原町立中央公民館黄金ホール。南風原町商工会主催)。南風原町商工会35周年記念事業として開催。第1部「フジ隊員が語る金城哲夫」講師:桜井浩子氏(女優・コーディネーター)、第2部「金城哲夫氏を語る」講師:金城和夫氏(弟)、上原美智子氏(妹)、第3部「フォーラム・ディスカッション」。
4月1日●一般社団法人南風原町観光協会発足。協会の大きな目的の一つが金城哲夫の顕彰事業。

8月11日●夏祭りキッズパークで「ウルトラマン」上映。第1話「ウルトラ作戦第一号」、第8話「怪獣無法地帯」。

9月13日●沖縄県立博物館で「吉屋チルー物語」(金城哲夫製作監督作品)のフィルム状態確認。

9月17日●金城哲夫生誕75周年祭実行委員会発足。金城家のご同意を得て結成。

12月15日●《金城哲夫生誕75周年祭》ポスター完成。

2014(平成26)年

2月11日～15日●《金城哲夫生誕75周年祭》。南風原文化センターと南風原町立中央公民館で開催。会期中、金城哲夫資料の展示のほか、「ウルトラマン」「吉屋チルー物語」の上映会。15日にスペシャル・トークショー開催。第1部桜井浩子(女優、「ウルトラQ」「ウルトラマン」出演)、与座重理久(俳優、「ウルトラセブンX」出演)、第2部「金城哲夫の原点」として上原正三(脚本家、ウルトラシリーズ等、金城の親友)、中野稔(光学撮影、特殊視覚効果の第一人者)、森口豁(もりぐちかつ。東京生まれ。金城哲夫と玉川学園で知り合い、沖縄問題を生涯のテーマに据える。ジャーナリスト。沖縄の諸問題を鋭い視点で伝えてきたディレクター)によるトークショー。その他、「金城哲夫」記念音楽隊(南風原中学校と南星中学校吹奏楽部)によるウルトラシリーズのメドレー演奏、ウルトラセブン撮影会など。5日間で約8000人來場。

5月28日●「第1回金城哲夫脚本大賞」(仮称)運営委員会発足。

7月21日●第3回『はえばる夏まつりキッズパーク』(南風原町立中央公民館)で、「ウルトラセブン」上映会を開催。第3話「湖のひみつ」、第8話「狙われた街」、第42話「ノンマルトの使者」

9月27日●金城哲夫脚本「泣いてたまるか/翼があれば(第35話)」上映会(主演は青島幸男)。あわせて「帰ってきたウルトラマン/毒ガス怪獣出現(第11話、金城執筆の最後の特撮脚本作品)」上映。南風原町立中央公民館。

2015(平成27)年

2月13日●金城哲夫生誕75周年記念事業《南風原町ヒーロー脚本賞》公募、記者会見。単独での開催。公募範囲は沖縄県内、締め切りは5月末。「沖縄タイムス」「琉球新報」に募集広告掲載。

2月●『金城哲夫生誕75周年記念誌』発行。

2月21日●《金城哲夫生誕75周年記念事業 ウルトラマンプレシャスステージ2・金城哲夫展》

5月31日●《南風原町ヒーロー脚本賞》募集終了。

7月20日●第4回『はえばる夏まつりキッズパーク』。「ウルトラマン/さらばウルトラマン(第39話)」を上映。

7月31日●《南風原町ヒーロー脚本賞》受賞者発表。応募総数13、優秀賞1、佳作2、特別賞1。

10月23日●《南風原町ヒーロー脚本賞》授賞式。受賞作品をまとめた冊子製作。

2016(平成28)年

3月5～6日●『ウルトラマンプレシャスステージ2』・「金城哲夫の世界」展開催。南風原町立中央公民館。「ウルトラマン/謎の恐竜基地(第10話)」「ウルトラマン/禁じられた言葉(第33話)」「ウルラセブン/湖のひみつ(第3話)」を上映。

5月6日●南風原町の金城哲夫記念脚本賞の名称を《金城哲夫のふるさと沖縄・南風原町脚本賞》と正式決定。

7月7日●《金城哲夫のふるさと 沖縄・南風原町脚本賞》募集記者会見。「沖縄タイムス」「琉球新報」に募集広告掲載。

10月31日●《金城哲夫のふるさと 沖縄・南風原町脚本賞》募集終了。

2017(平成29)年

2月25～26日●《金城哲夫生誕地イベント～『ウルトラマンライブ Peace of the Earth 2016-2017』・金城哲夫展》開催。

2月28日●《金城哲夫のふるさと 沖縄・南風原町脚本賞》受賞者発表記者会見。受賞作品をまとめた冊子製作。

5月●脚本賞設定を機に、南風原町民による劇団設立の機運高まり、準備。劇団名を《海》と決定。名前の由来は、南風原町は県内で唯一海に接していないことから、あえて《海》と命名。

5月●劇団民藝の「光の国から僕らのために～金城哲夫伝」を、南風原町で上演するため、観光協会が取り組むことが決定される。

7月23日●劇団《海》、団員募集・面接開始。

9月1日●劇団《海》、稽古開始。

10月25日●《金城哲夫アーカイブ委員会》発足。金城哲夫とゆかりのある人たちに、金城の生前の様子や人柄を聞き、記録に収める取り組みをする。初年度は、上原正三、黒島昭男、平良進、金城裕子、金城和夫、上原誠勇、上原美智子の各氏から聞き取り。

2018(平成30)年

3月4日●南風原町立中央公民館で『ウルトラマンライブ Peace of the Earth 2017-2018』と「金城哲夫展」開催。

3月11日●劇団《海》旗揚げ公演。入賞作「飛べ若人! 夢をつかめ!」を上演。

7月12日●劇団民藝『光の国から僕らのために～金城哲夫伝～』沖縄縦断公演記者会見。

7月16日●『はえばる夏まつりキッズパーク』で「ウルトラマン/怪獣無法地帯(第8話)」上映会。

9月21日～23日●3日連続で劇団民藝公演「光の国から僕らのために～金城哲夫伝」(作=畑澤聖悟、演出=丹野郁弓)を南風原町立中央公民館で実現。21日は、地元の2つの中学校(南風原中学校、南星中学校)の3年生が鑑賞。劇団民藝の沖縄公演は、南風原町3公演を含めて、10月1日まで県内で全7回行なわれた。観光協会は、劇団民藝公演や、劇団《海》の活動を全面サポートした。

9月21日(金)～27日(木)●劇団民藝公演に合わせて、《金城哲夫展～金城哲夫伝》開催。南風原町立中央公民館。金城哲夫氏の生涯と過去の映像作品(「吉屋チルー」「かりゆしの島」)等を紹介する展示会。

11月●金城哲夫アーカイブ制作。満田かずほ、飯島敏宏、中野稔、大城立裕の各氏から聞き取り。

2019(平成31/令和元)年

2月17日●南風原町劇団《海》第2回公演。「星空の秘密」を上演。2016年の「金城哲夫のふるさと沖縄・南風原町脚本賞」大賞作品の舞台化。

3月●金城哲夫に関するパンフレットを作成。

7月15日●『はえばる夏まつりキッズパーク』で「ウルトラマン/小さな英雄(第37話)」上映会。

7月●金城哲夫アーカイブ制作。森口豁(かつ)、瀬名波孝子、今井孝雄、金城京一郎、金城源次郎、松川奈里子、玉城優子の各氏から聞き取り。

2020(令和2)年

7月1日●「金城哲夫ウェブ資料館」開設について記者会見。金城和夫さん(金城哲夫さんの弟)、玉城優子さん(インタビューアー)、動画制作を担当した末吉真也さん(株式会社シネマ沖縄。動画制作担当)、南風原町観光協会副会長・高橋庸正さんが出席。

7月5日●金城哲夫氏の誕生日にあわせて「金城哲夫ウェブ資料館」ウェブサイト公開。

10月4日●劇団《海》団員募集・面接。

2021(令和3)年

1月18～29日●《金城哲夫展～沖縄を愛した作家たち》開催。南風原町役場1階町民ホール。これまで、南風原町立中央公民館や文化センター等で行なってきたが、役場の建物で初めて開催。金城哲夫氏の軌跡に深く関わり、近年相次いで他界した脚本家・上原正三氏(2020年1月2日没、享年82)、小説家・大城立裕氏(おおしろ たつひろ、2020年10月25日没、享年95)両氏の追悼展示も合わせて開催。

1月24日●南風原町劇団《海》第3回公演。「くるがにぬゆー鉄ぬ世一」を上演。2017年の「金城哲夫のふるさと沖縄南風原町脚本賞」佳作作品の舞台化。仲座健太団長(南風原町出身・FEC)が、原作をもとに新たにコメディ+南風原色を織り交ぜ、脚本・演出。

9月25日●商品開発委員会発足。

10月6日●金城哲夫資料の燻蒸。デジタル化及び複製本作成開始。

2022(令和4)年

3月3～6日●《はえばるのヒーロー》展(南風原文化センター企画ホール)。金城哲夫のほか、南風原町のヒーロー「ライト兄弟よりも早く飛んだ」と言われる伝説の男・飛び安里(あさと)。「1999年に誕生した南風原町のヒーロー～黄金戦隊～かぼっちゃんマン」を紹介。「ウルトラセブン/アンドロイドO指令(第9話)」を上映。

3月5～6日●南風原町劇団《海》第4回公演。「ヒュート誕生物語～ヒーローショーもあるよ!～」。ライブ配信も行なった。12月18日●野外イベント《ぶち青空イベント「ヒーローのまち はえばる」》開催(花・水・緑の大回廊公園)。金城哲夫、飛び安里(あさと)を取り上げる。

2023(令和5)年

3月●金城哲夫脚本のデジタル化・複製本完成(沖縄芝居の台本を中心に。計19冊)。

9月23～24日●《金城哲夫生誕85周年記念スペシャル・イベント》開催(南風原町立中央公民館)。「金城哲夫展」(2階特別展示室)。ウルトラマン・プレーザー・ショー。「吉屋チルー物語」上映&トークショー(司会・玉城優子。真喜屋力〔映像作家〕)。「ウルトラマン/怪獣無法地帯(第8話)」上映。「金城哲夫アーカイブ/上原正三証言編」上映&トークショー(司会・玉城優子。佐藤文彦〔金城哲夫研究会〕、増田悟郎〔宅地建物取引業(株)ソングス代表〕)。

11月13日●「ウルトラセブンかすり」について記者会見。「ウルトラセブン」公開55周年を記念して、町の特産品の一つである琉球餅(かすり)で「ウルトラセブンかすり」を商品化する旨、発表。テレビ、新聞で大きく報道される。(一部敬称略)【年表作成=小西昌幸、協力=南風原町観光協会、藤原政勝、金城朋枝】

●当連載「故郷・沖縄における金城哲夫さん顕彰の実践」は、次号終了の予定です。次号は限られたスペースですが、図版構成でお届けいたします